

デマンド型乗合タクシーの利用促進の取組について

1 現状と課題

【現状】

- ・登録者は増加傾向である。
- ・1日の平均利用者が30人程度に留まっている。
- ・午前の通院目的の利用が多い。
- ・途中乗車による乗合がほとんどされていない。
- ・主に高齢者の利用が多い。

【課題】

- ・特に午前の早い時間帯に利用が集中し予約が取りづらい。
- ・乗合運行がほとんどされていない。
- ・午後1時以降の利用が少ない。

2 利用促進に向けた取り組み

これまでの運行方法や予約・利用状況のデータ等を比較分析した結果、午前の早い時間帯の通院目的の利用が多く、降車する医療機関等是不特定で、途中からの乗合の利用が少ないが効率的に運行されていると考えられます。また、午前中の利用と午後1時以降の利用を比較すると午後の利用が極端に少ないため午後の利用を増やすための運行の改善に取り組む必要があります。

そのため、平成28年度にデマンド運行の効率的な運行を維持しながらデマンドの認知度を上げて気軽に利用できる運行体制を構築したいと考えています。

(1) 予約の受付時の積極的な乗合利用のPR

午前の早い時間帯に利用が集中し予約が取りづらいため、乗合可能な予約状況であれば、乗合の利用について丁寧に説明して乗合利用への関心を高めてもらう取り組みを引き続き行います。

(2) 午後1時以降の利用が見込まれる公共施設での当日予約受付
(試験運行期間3か月)

「さくらの家」は、多世代に利用される公共施設で多くの利用者は午後からの入浴を目的としています。

そのため、施設利用者の帰りの交通手段としてデマンドの利用を促進するため帰宅する利用者が多い午後2時45分に「さくらの家」を出発する便を1車配置します。